

11月5日(日) 新人戦4回戦レポート

3回戦で対戦校となった攻玉社高等学校は、夏休み前に練習試合をした時に、相手チームがスターティングメンバーを下げてなお20点差以上離されて負けていたチームでした。対策を十分に練り、練習の成果を発揮することで、73-52のスコアでリベンジすることができました。さて、ベスト32と本大会出場をかけて戦う4回戦の相手は、駒場東邦高等学校(以下駒場東邦、敬称略)となりました。過去の大会記録を見ても好成績を残していますし、3回戦まで強豪を倒して勝ち上がってきているチームです。

(Q:クォーター、OF:オフENS、DF:ディフェンス)

1Qは、スカウティングから分かっていた、駒場東邦のエースプレイヤー#7に、つばさ#9がしつこいDFをして気持ちよくプレーさせることをしませんでした。しかし、駒場東邦の速いランジションからの速攻を抑えることができず、簡単に得点される場面が目立ちました。2Qでは、ゾーンDFに切り替えて、DFから反撃に転じます。一進一退の攻防が続き、2Q終了時には、つばさ#6がファウルをもらいながら3ポイントシュートを沈めました。2Qだけの得点では同点、前半を9点差で折り返しました。

気持ちを切り替えて集中力を高めて後半にのぞみました。しかし、駒場東邦の速い展開に次第に押し込まれる展開が続きます。3Qではインサイドの要が5ファウルで退場をしてしまいました。ゾーンに対しても、うまく対応し始めた駒場東邦は立て続けに得点を重ねていきます。4Q、最後まで絶対に諦めないつばさもDFの強度を高めて、相手のターンオーバーを誘発してからの速攻、#7の3ポイントシュートなどで応戦しますが力及ばず、63-93で4回戦敗退が決まってしまいました。

新チームとして初めて挑んだ公式戦の結果は、『東京都ベスト64』という結果で終わってしまいました。夏休みには学校の体育館が使用できない中、色々な高校、地域に力を借り、お世話になりながら練習してきました。

今回1月の本大会に出場することはできませんが、生徒たちは新チームになって5か月間よく頑張ってきたと思います。この悔しさを絶対忘れず、次こそはベスト32、更に上の目標を目指し練習をよりハードに、やっていきたいです。

つばさ総合高校男子バスケットボール部は、これからも学校や地域から応援されるチームを目指し、人として選手として更に成長していきます。会場まで応援に来ていただいた方々、ご声援を下された皆様心より感謝申し上げます。

文責 林

GS	PTS	3P			2P			DK	FT			RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	OF	FO	DQ
		M	A	%	M	A	%		M	A	%	OR	DR	TOT									
●	23	0	4	0	9	16	56	0	5	5	100	1	8	9	2	2	2	2	3	0	0	0	0
●	0	0	0	0	0	8	0	0	0	2	0	0	6	6	3	5	0	3	1	0	0	0	0
●	17	4	20	20	2	11	18	0	1	3	33	1	6	7	2	1	0	4	4	0	0	0	0
●	20	1	2	50	8	18	44	0	1	1	100	6	7	13	1	0	2	2	4	0	0	0	0
	2	0	0	0	1	2	50	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	5	0	0	0	1
●	1	0	1	0	0	2	0	0	1	3	33	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	63	5	27	19	20	58	34	0	8	16	50	9	29	38	8	8	4	15	19	0	0	0	1